



発行  
長崎県高等学校教職員組合  
〒850-0013 長崎市中央2丁目2番5号  
長崎高教組会館  
☎ (095)-827-5882  
Fax (095)-826-2976  
編集責任者 佐藤真一郎  
購読料 一部10円  
組合員は組合費を含む  
メールアドレス  
naga-kks@fsinet.or.jp



**総合共済**  
全教共済 結婚・出産などの人生の節目にお祝い給付  
毎月わずか600円  
毎月加入できます  
退職時には掛金総額が給付されます!

# 第93回定期大会討論 出席した全代議員が発言

長崎高教組は、6月18日に諫早市高城会館で、第93回定期大会を開催しました。大会には、全教の平尾行敏書記次長を来賓として迎え、県下の各分会及び専門部等から代議員・特別代議員が26名が参加し、本部執行部が提案した5つの議案について討論を行いました。表決の結果、すべての議案が賛成多数で可決され、「教職員の長時間過密労働是正や定年延長における不合理・不公平な賃金削減を許さず、競争と格差の教育からの転換をめざすとくみを広げながら、みんなの力で、高教組のつながりと広がりをもたせよう。」と結んだ大会宣言が採択されました。大会の討論から、組織強化・拡大、生活・権利及び情勢にかかわる代議員・特別代議員の発言の要旨を紹介します。

## 選択授業が受けられない

### 教師不足・定年延長問題

平湯代議員(鳴滝屋)  
定年延長に関して若年層の教職員賃金が下がることが定年延長制度に反対。今の再任用制度の待遇改善をすれば、それでいい。個人的意見として60歳以下を5年伸ばされても困る。教員不足に関して、非常勤の先生に常勤の仕事量をお願いできない。残っている職員が分担し、業務量が増えたいへんだ。美



術選択の生徒が、教員不足のため、他の芸術ではなく、他の科目に替えてもらいたい対応した。果たして、公立の高校がこんな状況でいいのか。鳴滝屋は私立高校合格のために、40名定員のうち10数名の志願取消があった。担当の業務負担は大きい。定員割れについては現行入試制度に問題があるのに、私立高校が特色を出しているから、それぞれの公立高校でも特色を出すように、県教委から指示がくるので



井野口代議員(佐中屋)  
教育学部では、就職時の教職希望者が半分もない。教師の仕事が、追い詰められ、夢を持つ学生が不安を抱えている。部活動顧問や再任用の6割給与の現状を見たら、教師の仕事は苦役みたいになっている。

60歳以上の人がみんな健康で働けるのか。健康を意識しないと寿命を縮めてしまう。アマゾン労組が結成され、全国紙に、組合の活躍が載る。新組合員を迎えたいが、高教組が何をしているか、分からない。メリットがはつきりしない。誰でも分かるものを、マスクミとの繋がりを持ち、うまく情

佐藤代議員(諫早東)  
諫早東は、80人定員で、生徒数が減り、健康を出すために、通級指導と学習に特別な支援が必要な生徒に手厚い指導ができることを打ち出して、いろいろな地域から生徒が集まってきている。様々な理由で学校を休んだり、保健室に行ったり、という世界です。職員は全然休めず、時間をとられていく。いろいろなことをするのには、時間とか人手とか必要な状況です。支部レクについて、私が組合に加入している理由の一つでもある組合同士のつながりを大事にしたい。今年



# 参議院選挙に行こう

日本は、いま、重要な岐路に立っています。平和憲法の下、限定7月10日  
安全保障に関わっていないのか。選挙の結果によって、憲法改正の可能性が始まる可能性があります。  
道の方が良いのかを判断して投票する必要があります。  
選挙は、国民が政治を行います。  
選挙結果は、日本が何を考えているかを諸外国に伝える重要な機会です。周辺の国々に日本の意思が正しく伝わることで大きな抑止になります。

的な武力行使に留めるのか。それとも、武力行使しやすくして、これまでよりも積極的に  
がります。  
日本の安全と平和、そして世界の安定と平和のために、どちらの  
に参加して、私たちの代表を選ぶ作業です。  
今回の選挙には、この日本の将来がかかって  
ら、私は学校現場で育てられた。今は、他の先生がどういう目標を立てているのか、全然知りません。その方法で組織の教育力が上がるのか。同僚と話をして、知恵を出し合っているのが普通ではないか。  
心の病で、休職していた先生が復職される時に、復職だけでも頑張っているわけだから、何年か猶予してもらってもいいのではないか。初任者は学校現場に慣れるだけでひどく苦労している。少なくとも5年間は人事評価の対象から外す。勉強するだけで他のことをする余裕がない状態だ。

## つながりは財産

牟田代議員(長工定)  
と協力して長崎支部と諫早支部と合同でやりたい。共済のキャンペーンを利用してはいるが、まだ増やしきれないことを申し訳なく思っている。しっかりと勧誘に取組んで加入者増に貢献したい。  
横山代議員(吉岐商)  
組合の存在意義はいろいろなところから若い人に伝わっているが、組合費の負担で、二の足を踏む現状がある。私は職場の今後の人間関係や信頼関係もあり、勧誘に対して消極的になつていた。  
若い人は全国的にメリットがはつきりしない。誰でも分かるものを、マスクミとの繋がりを持ち、うまく情



鈴木代議員(島原全)  
勤務していた私立校で「3年経ったら正規職員」の約束が反故にされ、次の学校でも、協働どころか、競争で長時間労働で職員間の人間関係が悪かった。雇用や長時間労働は正や職員の処遇問題は若手職員も必ず考えていることなので、話をしていきたい。  
また、インターネットでのコメントは、右寄りの情報にたくさん「いいね」がつき、怖い。そういう人が大多数を占める状況なので、頑張りたい。



# 見えない教育方針

## 県立学校統廃合



幾世代議員(猶興館)

高校改革基本方針について、長崎県の教育制度に疑問がある。都市部では統廃合が可能かもしれないが、過疎地域では、厳しい。県は、通学域拡大、単独選抜制に続いて、明確な切り捨て基準を示している。結果的にこの間に私立に生徒が流れ、県立学校統廃合の追い風になっている。



竹田代議員(西彼農)

平和と民主主義について、自分の専門である世界史や現代社会の授業が平和教育の場だと思ひ、実践してきた。特に憲法9条の問題、自衛隊の海外派遣は、この30年で見えない危険



前田代議員(佐世保商)

昨年度、生理用品現物配布が行われ、新年度になって予算化された。生徒が570人で3万6千円だった。現在、どのように配置すれば、困窮している家庭の子どもに行き渡るのか、7月中旬に体育



下岸代議員(中五島)

部活動の地域移行について、方向性自体は良い。離島には若手が多いため、部活動を希望する先生も多い。しかし、休日に指導を行う仕組みについて、休日

## 部活動地域移行について

保健課に報告するようになっていく。



松尾代議員(青年部)

中国四国九州ブロックの青年部の集まりについて、各県でサテライト会場を設けて、各県をリモートでつなぐ予定。講演会や学習会をするという方向は決まっている。組合に入っている青年部の方々と私、つながる必要がある、意識的にやっていきたい。

# 2022夏季教育研究集会

### ひたひたの集まると元気 語って元気 夏季教研

高教組は8月11日・12日川棚町くじやく荘にて夏季教育研修会を2年ぶりに開催いたします。11日には、近畿大学教職教育学部教授の杉浦健氏を招き、「人事評価の賃金リンクがもたらす大問題」賃金リンクは最終的に教員のやる気と学校を破壊する(仮)という演題の記念講演をしていただきます。杉浦氏は「人事評価賃金リンク」が現場に与える影響について、研究を行っています。人事評価制度がもたらす職場の懸念や問題点を紹介します。

- 第1分科会：憲法、平和学習のとりくみ、学校での主権者教育等のとりくみ
- 第2分科会：生徒会活動、主権者教育、文化祭、18歳選挙権、生徒総会等クラスづくり等のとりくみ
- 第3分科会：登校拒否・不登校・高校中退・高校の特別支援教育、高校の「通級指導」の現状と課題や低所得層の子どもたちの現状等を含む
- 第4分科会：民主的學校づくり・学校の労働安全衛生活動のとりくみ、総合学科における課題研究のとりくみ、部活指導や教職員の長時間労働の問題と展望、帰国・外国人児童生徒との関わり、生徒指導規定の見直しと新しい学校づくり、女性教師の働き方など。

## ICT活用について



前田代議員(五島定)

高教組のオンラインのとりくみについて、オンデマンド型を検討してほしい。自分とは異なる他の人のコメントを読み、とても興味深く、それが自分のた

めになる。リアルに集まり、同じ空間を共有するのは大切だが、残念ながらそれが難しい。人の話や意見を聞いて、その後オフ会に集まることを検討してほしい。

入試業務から特別支援学校の一部で入試問題作成がなくなり、業務が軽減した。このこととどんな課題がでてくるのか、注視したい。2年連続で高等部普通科の入学者がゼロであった。来年度も入学者がいない可能性がある。現在、普通科在籍が3年生4名のみで、そのまま卒業を迎えれば普通科の在籍が来年度ゼロになり、専攻科のみになる可能性がある。

また、鶴南津分校が本校に格上げされる生徒がいたら、連絡がほしい。高教組速報を本部からデジタルデータで送ってもらい、目の不自由な職員にも、音声変換ソフトを使い情宣した。全教共済の冊子を回覧し、共済に興味ある先生が声をかけてくれた。ささやかな取り組みだが、試してほしい。

## 支え励ます職場へ

若い先生が学校に来れなくなり、職場ではどのように対応したらいいか、良い案を聞きたいという声が多くあり、そのことに対して、鍛治執行委員長は、「同僚の評価、特に激しい口調での叱責は、心が折れてしまう。今の教

た。確かに、若い先生たちは失敗もすると思うが、それに対して怒れば解決するのかという見解を示しました。

合員が管理職も巻き込んで、誰もが働きやすい職場環境を作ってほしい」という見解を示しました。



ICTについて、タブレットのために、PCが更新されないなら、タイミング検定の練習等に支障があり、生徒は不利益を受ける。また、離島では、通信環境が整えられない場所もあり、一部問題になっている。

田中代議員(中学校)が現場に与える影響について、研究を行っています。人事評価制度がもたらす職場の懸念や問題点を紹介します。

また、分科会を開き、先生方の実践から互いに学び合う場が用意されています。つながりは組合のメリット一つです。目に見えるものではありませんが、仕事の上でも豊かな人生を過ごすための財産になります。未組を誘って参加しましょう。以下は分科会別のテーマを紹介します。

高教組速報を本部からデジタルデータで送ってもらい、目の不自由な職員にも、音声変換ソフトを使い情宣した。全教共済の冊子を回覧し、共済に興味ある先生が声をかけてくれた。ささやかな取り組みだが、試してほしい。